

り間違いはない。

特定業者との随意契約については、既に業務委託等を施工した内容に関連するもの、緊急で業務内容、期間、事務効率などを勘案して総合的な判断で有益と認められるものとしている。今後においても規則等を遵守し適正な事務執行に務めたい。上水道課の体質改善については、法令に沿った適正な事務執行を行っており、体質改善の必要はないと考えている。随意契約の全体の把握であるが、市の事務事業はすべて契約行為であり、全体では膨大な件数があるが、事務の効率化、簡素化の観点から特に法令により認められたものであるので、法令を遵守し対応してまいりたい。（水道事業管理者職務代理者）

商店街の街づくりに ついて

問 「れとろーど」の行われている総社の商店街は、総社のまちのルーツでもある。限らない懐かしいふるさとと言える。こ



「れとろーど」風景（総社商店街）

寄附を受け
た堀和平の
家は、まだ
登録文化財
になってい
ないが、非
常に傷んで
いるので、
ひ修理をし
登録文化財
にするよう
お願いした
い。

答 総社商店街は古くから門前まちとして栄え、街道筋として昔ながら

の雰囲気を色濃く残していることから、地域住民と一体となつてこの古いまち並みの雰囲気を生かした住宅等の投資的な修景を行い、質の高いまち並みの形成を図る必要がある。また、地域住民の憩いの場、潤いのあるまち並みを創設し、にぎわいを取り戻すことが課題であり、中期的にまち並みの再整備を進め、生活環境の向上を図っていくこと

が必要であると認識している。

街なみ環境整備事業は、平成9年度から平成23年度までの15年の事業期間で行っており、進捗状況は修景施設整備等約16%、地域施設整備等約33%である。平成20年度以降についても、地域住民の協力なくしては進まない事業であることから、総社商店街地区まちづくり協定運営委員会へ諮りながら期間内に整備できるよう努力したい。

堀家については、かなり傷んでおり改修をするとかたさんの費用がかかる。雨漏り等がないよう修理はしていきたい。

（市長職務代理者）

答 堀和平、いわゆる塩屋については、現在文化財保護審議会等への活用等について協議いただいている。登録文化財への登録については、活用方法とあわせ関係課とも検討していきたい。教育委員会としても今後とも保存と活用に努めてまいりたい。

（教育長）

12月定例市議会の予定

12月定例市議会は、12月4日（火）から19日（水）までの予定です。この定例市議会本会議を、倉敷ケーブルテレビの13チャンネルで午前10時から生放送します。
12月定例市議会は、下の表のように予定していますが、正式な日程は11月下旬に行う議会運営委員会で決まります。決まり次第、13チャンネル（回覧板チャンネル）と市のホームページ（<http://www.city.soja.okayama.jp/>）でお知らせします。
なお、12月7日・10日は午後4時ごろまでの開催予定ですが、その他の日については一般質問・質疑の多少により変更となる場合がありますので、前日にお尋ねください。

問い合わせ 議会事務局 TEL 92-8332

○12月定例市議会の放送予定

日 時	内 容
12月 4日	開会
12月 7日	一般質問
12月10日	一般質問、質疑
12月11日	質疑
12月19日	閉会



9月
定例市議会

9月定例市議会は、9月3日から21日までの19日間の会期で開きました。

この議会では、同意1件、報告1件、承認1件、認定10件、議案15件を審査し、いずれも原案どおり可決等しました。

決算認定

平成18年度の一般会計及び特別会計の決算は、監査委員の意見書をつけて、定例市議会初日に上程され、一般会計については、一般会計決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査した結果、9月21日の最終日にそれぞれ認定しました。

なお、一般会計、総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計、公共下水道事業費特別会計の3会計は、実質単年度収支が赤字であり、財政状況を示す経常収支比率、公債費比率、実質公債費比率、公債費負担比率、起債制限比率の各指標も悪

化していることから、依然厳しい財政状況が続くものと考えられます。

●一般会計決算認定

決算額は、歳入237億3565万円、歳出230億6869万円、歳入歳出差引額は6億6696万円となっています。

●特別会計決算認定

国民健康保険、老人保健などの7特別会計の決算総額は、歳入210億8196万円、歳出200億4153万円、歳入歳出差引額は10億4043万円となっています。

補正予算

●平成19年度総社市一般会計補正予算（第2号）

今回5億6600万円を追加し、予算総額は233億円となりました。

歳出の主なものは、希望退職の職員に係る退職手当の増額などです。

●平成19年度総社市一般会計補正予算（第3号）

今回4000万円を追加し、予算総額は233億4000万円となりました。歳出の主なものは、市長

選挙費、竹内洋二前市長の退職手当です。

●平成19年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

今回2億6600万円を追加し、予算総額は62億200万円となりました。

歳出の主なものは、老人保健医療費拠出金の額の確定による老人保健医療費拠出金の増額などです。

●平成19年度総社市介護保険特別会計補正予算（第1号）

今回2億1550万円を追加し、予算総額は44億3650万円となりました。

歳出の主なものは、保険給付費等の額の確定による国庫支出金等過年度分返還金、介護給付費準備基金積立金の増額などです。

●平成19年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）

今回5000万円を追加し、予算総額は7億4000万円となりました。歳出については、国の補助事業に係る補助金の交付決定に伴う建物等の移転補

償費の増額です。

主な議決議案

●総社市教育施設使用料徴収条例の一部改正について

学校、公民館、図書館の使用料について、受益と負担の公平性の観点から見直しを行うとともに、消費税を外税から内税に改めるもの。

●総社市民会館条例の一部改正について

市民会館の使用料について、受益と負担の公平性の観点から見直しを行うとともに、消費税を外税から内税に改めるもの。

●総社市体育施設条例の一部改正について

受益と負担の公平性の観点からスポーツセンターなどの体育施設の使用料について見直しを行うとともに、高梁川河川敷グラウンドについて、新たに使用料を徴収しようとするもの。

●総社市砂川公園条例の一部改正について

砂川公園の管理について、指定管理者制度を導入することに伴い、条文の整備をするもの。

●総社市議会委員会条例の

一部改正について

機構改革等に伴い、常任委員会の名称、委員定数、その所管等について改正するもの。

常任委員会は、総務文教委員会、厚生委員会、産業建設消防委員会の3委員会となり、各常任委員会の委員定数は8人となりました。また、議会運営委員会の委員定数は9人となりました。

人事案件

●市長の辞職

竹内洋二前市長から9月3日付けで辞職願が提出され、同日開催の9月定例市議会本会議において、竹内洋二前市長が辞職することに同意しました。

陳情等の審査結果

9月定例市議会での陳情等の審査結果は次のとおりです。

採択したもの

◇全頭検査への予算措置の継続を求める陳情
◇道路整備予算確保に係る意見書提出についての要望